



製薬協

2010年1月29日

関係各位

日本製薬工業協会
広報委員会
委員長 與五澤 克行

第21回 製薬協（日本製薬工業協会）政策セミナー

わが国の創薬基盤を考える ～治験・臨床研究の活性化に向けて～

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

いまだ有効な治療法や薬剤がない医療に対する国民のニーズに応えるため、製薬協の加盟各社は積極的に革新的新薬の研究開発に取り組んでいます。しかしながら、新薬の研究開発には膨大な費用と長い年月を必要とする現実のなかで、新薬を少しでも早く患者さんに届けるためには、効率的な研究開発基盤や治験環境、承認審査体制等、各種インフラの更なる整備が喫緊の課題といえます。現在、「革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略」に沿ってさまざまな計画が実行されていますが、一定の前進はありながらも、諸外国と比べるとまだ十分な成果を上げるに至っておりません。

革新的医薬品を創出するための基盤強化は、10年後、20年後のわが国の医療や国民の健康をより充実したものとするための重要な課題であり、治験を含む臨床研究の活性化は、創薬基盤の強化において最も重要な課題のひとつに位置づけられています。しかし、実際は、症例集積性の向上、治験・臨床研究の効率化、研究者育成、人材確保等、さまざまな問題が山積しています。

今回の製薬協政策セミナーでは、治験・臨床研究に関するわが国での議論をリードする多彩な有識者に登壇いただき、革新的新薬を一日でも早く開発し、それを必要とする方々に届けるために今何をしなければならないかを考えてみたいと思います。

皆様には是非本セミナーにご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

開催日時 : 2010年3月11日(木) 14時00分～17時00分

会場 : 大手町サンケイプラザ 4階 ホール
東京都千代田区大手町1-7-2
電話 : 03-3273-2258
URL : <http://www.s-plaza.com/>

講師 : 基調講演 楠岡 英雄氏 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター院長

パネリスト 渡邊 裕司氏 浜松医科大学臨床薬理学講座臨床薬理内科学教授
千村 浩氏 厚生労働省医政局研究開発振興課長
辻本 好子氏 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML理事長
中岡 一郎氏 武田薬品工業株式会社医薬開発本部日本開発センター長

コーディネーター 楠岡 英雄氏 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター院長

本件に関するお問合せ先
日本製薬工業協会 広報部長 名取 宏祐 tel.03-3241-0326